

② 施設について

対価をいただいてお客様を受け入れるのですから、ある程度の施設の整備は必要ですが、ホテルではありませんので、過度の設備は必要ありません。現状の施設の状況を生かして、お客様が快適に過ごせる空間を演出してください。

「自分がお客様だったら、ここに泊まりたい」と思える施設にしましょう。

【施設対応の一例】

(これは先進地区の取組例です。全てこの通りにする必要はありません。)

<p>○入口に「農家民泊〇〇」などの看板（案内）を用意する。</p> <p>→全く普通の民家では入りづらく感じます。また、看板があると利用客も宿としての雰囲気を感じて、対価を支払うことへの納得感を感じます。</p>
<p>○お客様が利用する（目にとまる）ところは、清潔・整頓を心がける。</p> <p>→見て不愉快なもの（ゴミなど）や見られて困るもの（洗濯物など）は、見られないスペースにしまう、または隔離するなどがが必要です。</p>
<p>○トイレ・風呂の衛星面管理は怠らない。</p> <p>→清掃や点検を念入りにし保てれば、お客様も清潔に安心して使えます。余裕が出てきたら、ホスト用とお客様用を別にすると尚良いです。</p>
<p>○寝具やリネン類は清潔感を出す。</p> <p>→寝具は既存のもので構いませんが、まめに天日干しなどをおこなうなど清潔感を出しましょう（なるべく使用感を感じさせない）。シーツ類を少しおしゃれ（綺麗）にするだけで雰囲気が変わってきます。</p>
<p>○タオル類は用意してあると喜ばれる。</p> <p>→旅行客にとって、荷物になるタオルはなるべく持って行きたくないものですので宿で用意してあると嬉しいものです。歯ブラシ類は逆に荷物にならないので、お客様持参でも抵抗がありません。</p>

備品については、最初は宿泊最低限のものを用意するだけでも構いません。実際に宿泊を受け入れてから、お客様に何が必要なのかを聞いて揃えていく対応が良いかと思えます。

他のファームインを利用したお客様の声

- ・館内の清掃が大変行き届いていて清潔感があった。(40代男性)
- ・昔行っていたお婆ちゃん家の様に懐かしい感じで、すごく落ち着いた。(20代男性)
- ・遅れて到着したのにも関わらず宿の方たちの親切さには大変驚いた。(20代女性)

